

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【日浦中学校】

<第1学年：炭焼き活動>

昭和62年度より、先輩方と地域の方々が造った炭窯を利用して、端材を活用した炭焼き活動を引き継いでいます。地域の方の御指導のもと、窯に火を入れてからこまめに温度を確認しながら、丁寧に焼き上げています。でき上がった炭は、来校された方へのお土産などにして、喜ばれています。



<第2学年：ホタルの保護活動・米づくり>

昭和58年より、地元の川に生息するホタルの数を調べています。雌雄のホタルを捕獲して産卵させ、孵化した幼虫の餌となるカワニナをやり、人工飼育します。大きくなった幼虫を捕獲した川に放流することで、たくさんのホタルが舞う日浦の里を守っています。また、2年生を中心に、地域の休耕田を利用して、平成15年度より地域の方の御指導のもと、小学生とも協力して米づくりをしています。4月から田んぼをすく作業を開始し、田植え前の時期になると田に水を張り、水の管理を行います。田植えを終えると、稗抜きの作業を教員と児童生徒で行い、おいしいお米を作るために、学校全体で協力しています。収穫したお米は、「日浦っ子米」として給食でおいしくいただいたり、自分で作る「弁当の日」のご飯として使ったりします。



<第3学年：ヒメユリの保護活動・植樹活動>

平成5年度より実施している絶滅危惧種指定の地域の花「ヒメユリ」の保護活動では、種を蒔いてから球根になるまで3年、花を咲かせるまでに5年かかります。小学1年生と一緒に播種作業をしたり、卒業生から引き継いだ苗を育てたりしています。花が咲いたあとのヒメユリから、今年もたくさんの種子を採取することができました。ヒメユリの花が咲く日浦の復活が楽しみです。また、平成20年度から日浦夢桜の森推進事業として、地域にある水源地区に、毎年12月、桜の苗木を植樹しています。愛媛大学の留学生と協力して生徒が植樹した桜は、約10年後に開花する予定です。

